

調書に添付する図書

図書の種類	明 示 す べ き 事 項
都市計画図	縮尺1/2500 計画敷地を朱書きで明示のこと
配置図	縮尺1/100～200程度 確認申請で要求されるレベルのものに、延焼ライン、道等の空地の情報（主要な箇所の幅員及び延長距離、排水施設等）、敷地内既存建築物の建築年代若しくは建築確認経過等を表示。 道の立ち並び状況の判断にあつては、立ち並んでいる他の建築物の年代若しくは建築確認経過等も表示のこと。
公図の写し	計画敷地境界を朱書き。 通路等の判断対象空地は、そのうちの赤線等公共部分を茶色着色表示、民地部分を黄色着色表示。 河川等の判断対象空地は水色着色表示。
その他	事案によっては次のような資料を添付する必要があるので、あらかじめ問合せのこと。 ・既存建築物の建築確認通知の写し ・計画敷地の土地登記簿謄本、敷地内の既存建築物の登記簿謄本 ・通路等空地の土地登記簿謄本 ・通路等空地の立ち並び状況の判断にあつては、それに接している他の空地の土地登記簿謄本及び建物の登記簿謄本

許可申請書に添付する図書

図書の種類	明示すべき事項
付近見取図	方位、道路及び目標となる地物
配置図	縮尺、方位、申請区域の境界線、敷地境界線、敷地内の建築物の用途、延べ面積、位置及び構造並びに出入口の位置、申請に係る建築物と他の建築物との別、擁壁の位置、土地の高低、建築物の各部分の高さ、敷地の周囲の通路その他の空地の配置（通路にあつては、位置及び幅員）並びに敷地に接する道路の位置及び幅員
各階平面図	縮尺、方位、間取り、各室の用途、開口部及び防火戸の位置並びに延焼のおそれのある部分の外壁の構造
床面積求積図	床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式
2面以上の立面図	縮尺、開口部の位置並びに延焼のおそれのある部分の外壁及び軒裏の構造
2面以上の断面図	縮尺、床の高さ、各階の天井の高さ、軒及びひさしの出並びに軒の高さ及び建築物の高さ 判断基準3号の（2）の1に該当し、通路幅が1.8m未満で延焼部分の防火措置が必要な場合は、外壁と軒裏の構造を明示。

共通事項

代理者によって申請等行う場合にあつては、委任状を添付してください。